

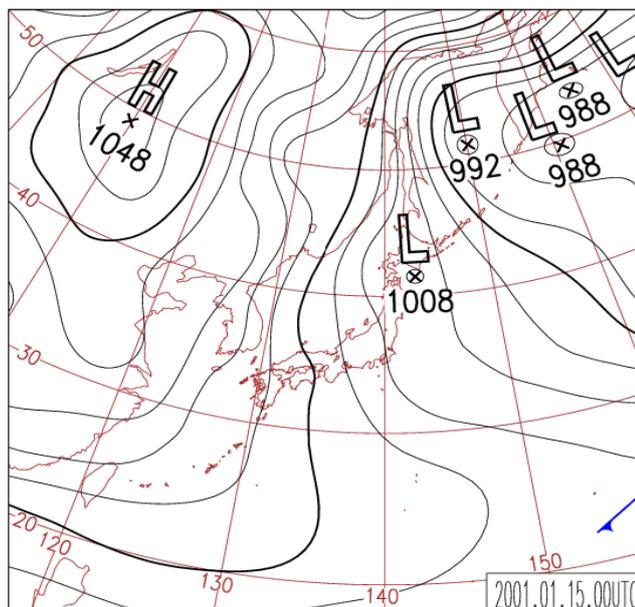
平成13年（2001年）の災害記録

- [・ 1月13日～17年の大雪による積雪害（冬型）](#)
- [・ 3月4日～5日の強風による強風害（冬型）](#)
- [・ 6月18日～20日の大雨・強風による山がけ崩れ外・浸水害（梅雨前線）](#)
- [・ 7月29日～31日の赤潮による赤潮外（高気圧）](#)
- [・ 8月19日～21日の強風・波浪による海上波浪害（台風11号）](#)
- [・ 10月16日～17日の大雨による山がけ崩れ害・浸水害（停滞前線・台風第21号）](#)

※目次に戻る場合は標題をクリックしてください。

1086 平成 13 年(2001 年)1 月 13 日～17 日の大雪による積雪害(冬型)

[気象概況]1 月 13 日から 17 日にかけて、冬型の気圧配置が強まり、県の北部、西部を中心に大雪となった。特に 15 日～16 日にかけては、上空 5, 500m 付近で氷点下 26℃以下の強い寒気が流れ込んだため、耶馬溪で 13 cm(16 日 09 時)、玖珠で 10 cm(15 日 09 時)の積雪を観測した。



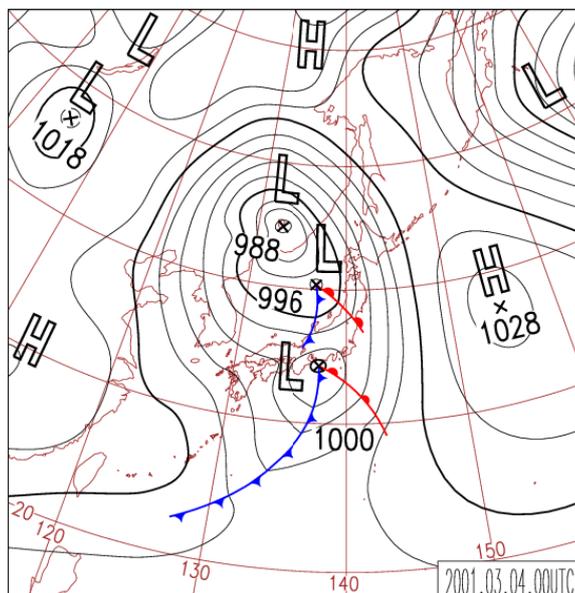
地上天気図 1 月 15 日 09 時

積雪・降雪観測値			
観測項目	観測値	起日	観測地点
降雪の深さ(09時)	7cm	15日	日田
	3cm	14日	日田
	2cm	15日	大分
積雪の深さ(09時)	13cm	16日	耶馬溪(委託)
	10cm	15日	耶馬溪(委託)
	10cm	15日	玖珠(委託)
	7cm	16日	院内(委託)
	6cm	14日	耶馬溪(委託)
	6cm	17日	耶馬溪(委託)
	5cm	14日	院内(委託)
	5cm	14日	湯布院(委託)

[被害概況]15 日から 16 日の県内は、大雪のため北部、西部の山沿いを中心に道路の通行止め等の規制が相次いだ。(交通障害)15 日に積雪のため、大分自動車道の別府インターチェンジ-鳥栖ジャンクション間、宇佐別府道路の全線、大分空港道路の下り車線が通行止めとなった。高速バスでは、大分-長崎間が終日(往復 7 便)、大分-福岡間が始発から午前 10 時 30 分までの便、及び大分-熊本間で運休となった。航空便では、午前中の発着便全てが欠航となった。JR 日豊本線では、普通列車 7 本が運休し、特急ソニックが上下線で最高 23 分の遅れが出た。16 日も積雪のため、大分自動車道が一部、宇佐別府道路は全線、大分空港道路の下り車線が通行止めとなった。高速バスでは、大分-長崎間、大分-鹿児島間が終日、大分-福岡間は午前中の便が運休となった。(その他)県教育委員会によると 15 日に県の北部、西部を中心に、小・中学校 35 校、高校 4 校が臨時休校した。また、小・中学校 84 校、高校 14 校、養護学校 2 校が始業時間を繰り下げた。16 日も県の北部、西部を中心に小・中学校 32 校、高校 4 校が臨時休校した。その他、強い寒気に伴う朝の冷え込みにより、15 日から 16 日にかけて、水道管破裂による漏水、凍結による断水の被害が出た。

1087 平成 13 年(2001 年)3 月 4 日～5 日の強風による強風害(冬型)

[気象概況]九州北部地方は、3 月 4 日から 5 日にかけて、上空 5, 400m 付近で氷点下 24℃の寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となった。このため、西から北西の風が非常に強まり、豊後高田で、4 日 21 時に西の風 20m/s の最大風速を観測した。



地上天気図 3 月 4 日 09 時

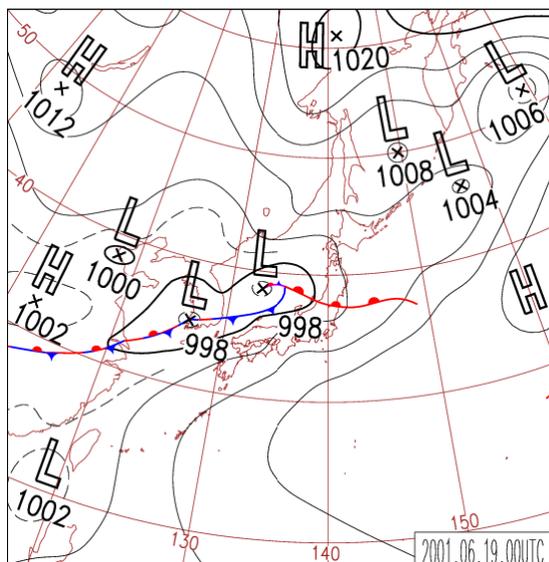
極値表			
観測項目	観測値	起時	観測地点
日最大風速・風向	20.0m/s 西	4日 21h00m	豊後高田(a)
	13.0m/s 西北西	5日 14h00m	豊後高田(a)
	11.4m/s 西	4日 15h10m	大分
	10.8m/s 西	4日 18h05m	大分空港
	10.0m/s 西北西	4日 02h00m	中津(a)
	10.0m/s 西	4日 04h00m	玖珠(a)
	9.2m/s 西南西	5日 08h40m	大分
日最大瞬間風速・風向	19.9m/s 西	4日 11h08m	大分
	19.2m/s 西	5日 08h34m	大分
	18.0m/s 西	4日 17h54m	大分空港

[被害概況]農業被害は、強風のため、ビニールハウスのビニールシートの破損が佐伯市 3 箇所、弥生町 5 箇所、国見町 2 箇所、三光村 2 箇所が発生し、果樹(ハウスみかん)の被害が国見町で 1 箇所あった。被害総額は 1,018 万円であった。交通機関では、大分ホーパーフエリーが 4 日に上り・下り各 5 便が欠航となった。

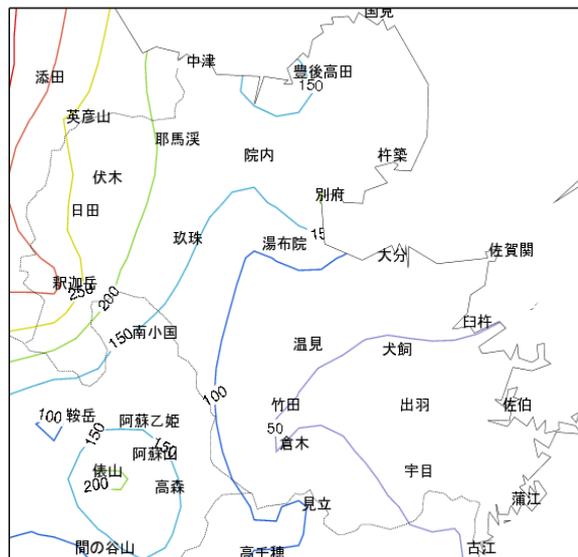
1088 平成 13 年(2001 年)6 月 18 日～20 日の大雨・強雨による山がけ崩れ害・浸水害

(梅雨前線)

[気象概況]6 月 18 日、朝鮮半島南部に停滞していた梅雨前線は、活発な活動を維持しながら、19 日から 20 日にかけて九州南岸まで南下した。このため大分県西部、北部を中心に県内各地で大雨となった。18 日から 20 日の期間に釈迦岳で 326mm、伏木で 250mm、日田で 232mm の雨が降った。



地上天気図 6 月 19 日 09 時



降水量分布図 6 月 18 日～20 日

6月18日～20日の日別降水量(単位:mm)						
観測地点	18日	19日	20日	日別降水量合計	日最大1時間降水量	起時
国見	0	162	36	198	36	19日 20h00m
中津	1	115	35	151	23	20日 01h00m
豊後高田	0	86	40	126	18	20日 02h00m
耶馬溪	2	170	35	207	27	19日 13h00m
院内	1	121	36	158	32	19日 15h00m
杵築	0	156	54	210	38	19日 22h00m
伏木	10	204	36	250	35	19日 13h00m
日田	6	202	24	232	38	19日 13h00m
別府	0	157	50	207	30	19日 21h00m
玖珠	0	143	33	176	34	19日 21h00m
湯布院	0	61	30	91	12	19日 21h00m
大分	0	20	33	53	10	20日 01h00m
佐賀関	1	15	52	68	16	20日 02h00m
釈迦岳	7	280	39	326	26	19日 22h00m
臼杵	0	10	42	52	7	20日 06h00m
温見	1	29	21	51	8	19日 17h00m
犬飼	0	13	32	45	8	20日 08h00m
竹田	0	28	24	52	8	19日 22h00m
出羽	0	2	29	31	6	20日 08h00m
佐伯	0	2	35	37	7	20日 06h00m
倉木	2	8	40	50	6	20日 24h00m
宇目	0	7	34	41	7	20日 24h00m
蒲江	0	2	44	46	7	20日 08h00m

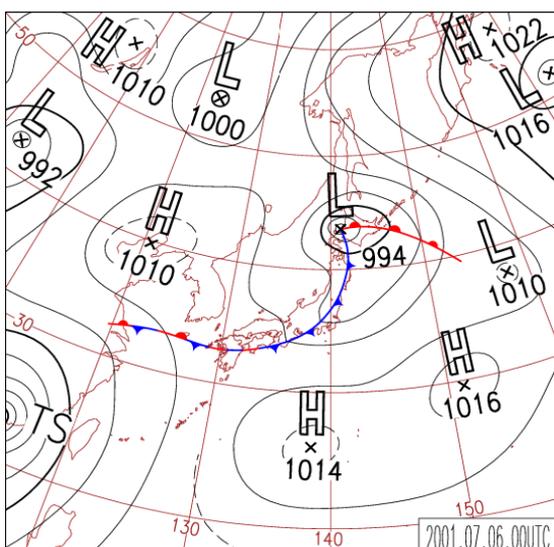
[被害概況]19日から20日にかけて、日田玖珠地方を中心に山がけ崩れ、道路損壊、床下浸水などの被害が相次いだ。また、国道など11路線で通行止めや片側通行の規制となった。農業関係では、大雨のため、野菜、麦類等の農作物や施設で97,760万円の被害がでた。

被害状況			
死者・行方不明者	人	道路損壊	576 か所
負傷者	1 人	橋の流失	か所
被災者	人	鉄軌道被害	3 か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り
	半壊・焼・一部破損	3 棟	堤防決壊
	床上浸水	棟	通信施設被害
	床下浸水	48 棟	木材流失
耕地	流失・埋没	86.2 ha	山林焼失
	冠水	28.4 ha	船舶被害
農業被害		47 ha	か所
			97760 万円
水産業被害		隻	か所
			万円
林業被害		m ³	ha
		か所	万円
交通	陸上	一時不通	
	海上		
	航空		
電力・水道被害			
被害資料の入手先	大分県警察本部、大分県、大分合同新聞		

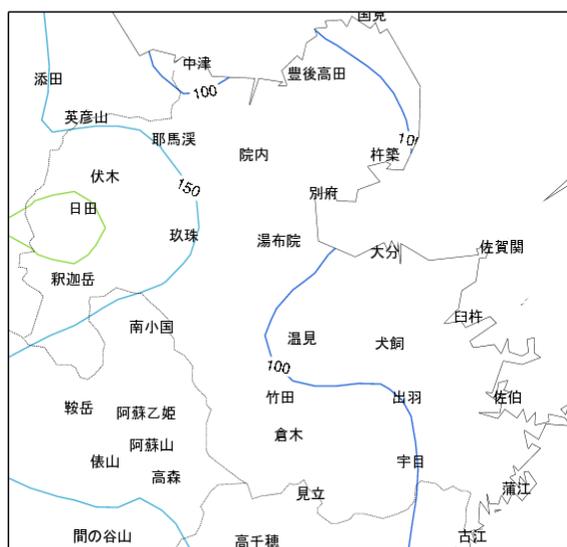
1089 平成13年(2001年)7月5日～7日の大雨・強雨による山がけ崩れ害・浸水害

(梅雨前線)

[気象概況]7月5日、朝鮮半島に停滞していた梅雨前線は、活発な活動を維持しながら、6日から7日にかけて九州南部まで南下した。このため大分県西部、北部を中心に県内各地で大雨となった。5日から7日の期間に日田で250.5mm、伏木で184mm、釈迦岳で178mmの雨が降った。



地上天気図 7月6日09時



降水量分布図 7月5日～7日

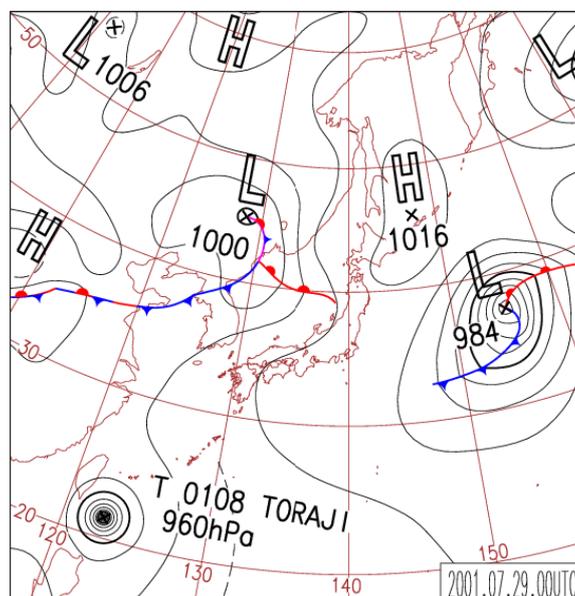
7月5日～7日の日別降水量(単位:mm)						
観測地点	5日	6日	7日	日別降水量合計	日最大1時間降水量	起時
国見	3	85	0	88	33	6日 06h00m
中津	15	61	0	76	9	6日 12h00m
豊後高田	3	114	0	117	38	6日 06h00m
耶馬溪	23	138	1	162	21	6日 05h00m
院内	12	125	1	138	37	6日 07h00m
杵築	6	128	1	135	21	6日 08h00m
伏木	30	152	2	184	25	6日 02h00m
日田	18	228	4	250	38	6日 07h00m
別府	8	135	4	147	30	6日 02h00m
玖珠	2	153	8	163	43	6日 07h00m
湯布院	1	129	6	136	28	6日 02h00m
大分	2	61	7	70	10	6日 08h00m
佐賀関	2	63	5	70	17	6日 08h00m
釈迦岳	8	160	10	178	51	6日 07h00m
白杵	13	65	5	83	14	6日 09h00m
温見	0	68	7	75	11	6日 08h00m
犬飼	16	66	6	88	14	5日 15h00m
竹田	11	86	22	119	16	6日 08h00m
出羽	23	72	18	113	22	5日 15h00m
佐伯	11	37	15	63	11	5日 16h00m
倉木	1	93	36	130	21	6日 15h00m
宇目	13	49	46	108	14	7日 05h00m
蒲江	0	47	36	83	15	6日 16h00m

[被害概況]5日から7日にかけて、日田玖珠地方を中心に山がけ崩れ、道路損壊、床上浸水、床下浸水などの被害が相次いだ。また、6日06時50分頃、JR日豊本線宇佐駅－中山香駅間が大雨のため、徐行運転となった。この影響で特急列車、普通列車に最大25分の遅れが出た。日田市で男性1人が水田を見廻りに出かけ水死した。農業関係では大雨のため、野菜、水稻等の農作物や施設で3,191万円の被害が出た。(その他)日田市郡、玖珠郡の小・中学校計36校と高校1校が臨時休校した。

被害状況				
死者・行方不明者		1人	道路損壊	176か所
負傷者		人	橋の流失	か所
被災者		人	鉄軌道被害	か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り	28か所
	半壊・焼・一部破損	棟	堤防決壊	か所
	床上浸水	3棟	通信施設被害	回線
	床下浸水	75棟	木材流失	m ³
耕地	流失・埋没	3.1ha	山林焼失	ha
	冠水	ha	船舶被害	隻
農業被害		85ha		か所
水産業被害		隻		3191万円
林業被害		m ³		ha
		か所		万円
交通	陸上	一時不通 遅延		
	海上			
	航空			
電力・水道被害				
被害資料の入手先		大分県警察本部、大分県、大分合同新聞		
報告刊行物				

1090 平成 13 年(2001 年)7 月 29 日～31 日の赤潮による赤潮害(高気圧)

[気象概況] 県内では 7 月下旬から 8 月上旬にかけて、西部を中心に、にわか雨や雷雨になった日もあったが、太平洋高気圧に覆われ、晴れて高温になった日が多かった。



地上天気図 7 月 29 日 9 時

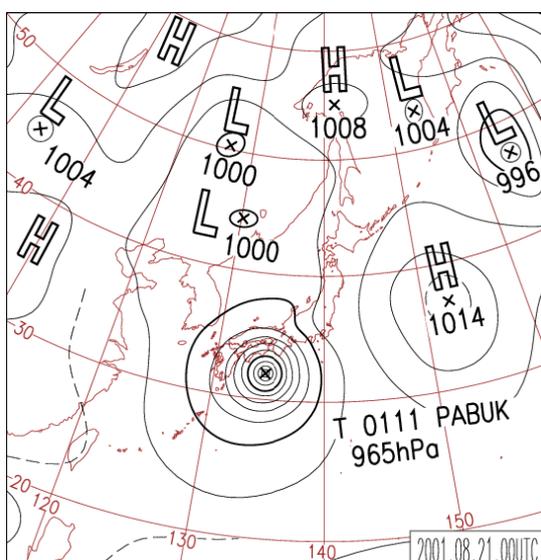
観測項目	観測値	起時・期間	観測地点
日最高気温	36.2°C	8月4日 14h38m	大分
	35.8°C	7月31日 13h00m	佐伯(a)
期間平均気温(平年差)	29.2°C (+2.1°C)	7月21日～8月10日	大分
	28.8°C (+2.1°C)	7月21日～8月10日	佐伯(a)
月間日照時間(平年比)	231.0h (124%)	7月	大分
	207.2h (105%)		佐伯(a)
	210.6h (106%)	8月	大分
	206.1h (102%)		佐伯(a)

[被害概況] 赤潮被害は 7 月 30 日から臼杵湾で発生した。同日に臼杵市内の養殖業者が飼育するヒラマサ 1,000 匹やブリ 70 匹などの被害が確認された。31 日にはヒラマサ 15,000 匹、ブリ 5,000 匹に被害が拡大した。8 月 2 日までにヒラマサ 19,000 匹、ブリ 16,000 匹、サバ 12,000 匹の他、カンパチ、モジヤコ、アワビなどに被害が出た。最終的には被害は臼杵湾から佐賀県沿岸に広がり、ブリ 22,000 匹、ヒラマサ 19,000 匹、サバ 12,000 匹、アワビ 27,000 杯がへい死するなど被害総額は 17,427 万円となった。大分県海洋水産センターの調べでは、原因のプランクトンは植物性の「ギムノディウム・キモイ」で、魚のえらに付いて酸欠を起こさせたり、海水を酸素不足にする。海水 1ml 当たりの細胞数が 2,000 個を超えると「警戒密度」になるが、ピークの 8 月 1 日には 37,300 個を超えた。

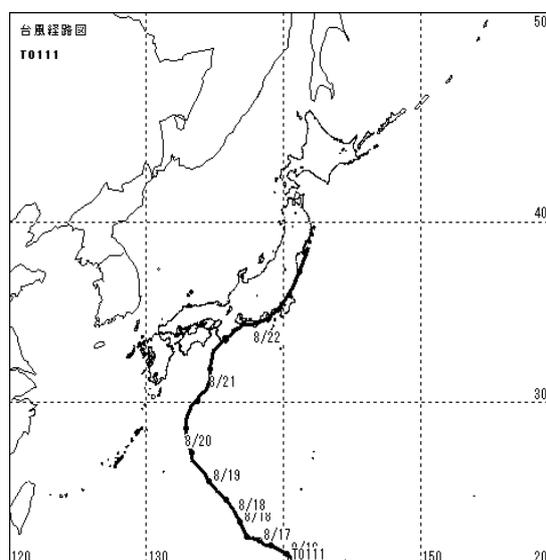
1091 平成 13 年(2001 年)8 月 19 日～21 日の強風・波浪による海上波浪害

(台風第 11 号)

[気象概況]8 月 14 日 21 時にマリアナ諸島の北の海上で発生した台風第 11 号は、発達しながら、日本の南海上を西北西へ進み、16 日 21 時「超大型で強い」台風となった。台風は勢力を維持しながら北西へ進み、19 日 15 時に南大東島の東海上で「大型で強い」台風となり、向きを北寄りに変えた。21 日 03 時には四国の南海上へ北上した。その後台風は北東へ向きを変え、勢力を次第に弱めながら同日 19 時過ぎに和歌山県南部の串本町付近に上陸した。上陸後、台風は東海、関東、東北地方の太平洋岸を比較的遅い速度で北東へ進み、23 日 03 時に北海道で熱帯低気圧となった。大分県は 20 日 05 時頃に強風域に入り、22 日 03 時頃に強風域から抜けたが、大分で 21 日 16 時 34 分に北北西の風で 21.1m/s の日最大瞬間風速を観測した。また、台風に伴う南海上からの暖かく湿った空気が流れ込み、21 日は南部を中心に雨が降った。



地上天気図 8月21日 09時



台風第 11 号経路図 8 月 16 日～22 日

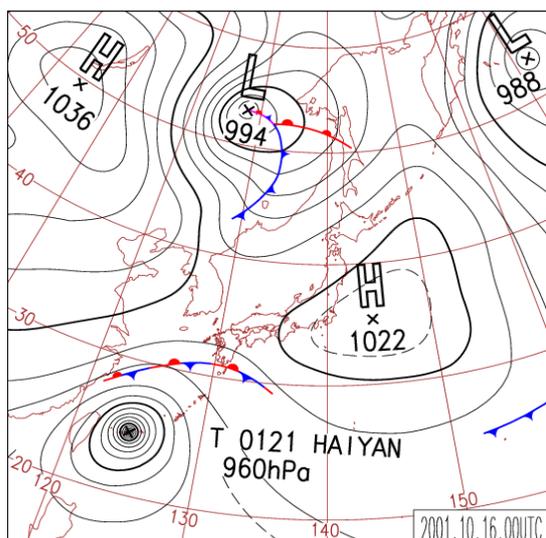
8月19日～8月22日の日最大風速(単位:m/s)			
観測地点	日最大風速・風向	起時	
国見	5 東北東	20日 17h00m	
中津	8 北北西	21日 13h00m	
豊後高田	13 西	21日 24h00m	
院内	6 北西	21日 13h00m	
杵築	8 北西	21日 17h00m	
日田	4 西南西	22日 14h00m	
玖珠	8 東南東	19日 16h00m	
湯布院	5 東	20日 03h00m	
大分	8 北西	21日 16h00m	
犬飼	5 北北東	20日 20h00m	
竹田	3 西	22日 14h00m	
佐伯	7 北	21日 03h00m	
宇目	3 北北東	21日 03h00m	
蒲江	8 北北西	21日 10h00m	

極値表			
観測項目	観測値	起時	観測地点
日最低海面気圧	989.4hPa	21日 16h22m	大分
日最大風速・風向	13.0m/s 西	21日 24h00m	豊後高田(a)
	12.0m/s 西	22日 01h00m	豊後高田(a)
	11.3m/s 北東	20日 17h41m	大分空港
	8.6m/s 北西	21日 16h20m	大分
日最大瞬間風速・風向	21.1m/s 北北西	21日 16h34m	大分
	17.0m/s 北西	21日 16h55m	大分空港

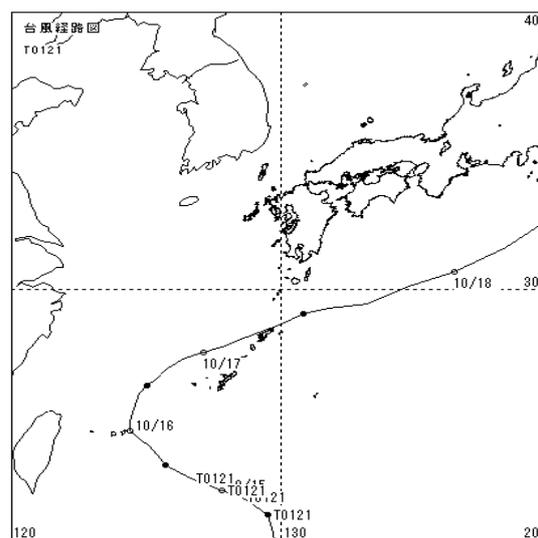
[被害概況] 台風の影響で佐伯宿毛フェリーは 19 日深夜の便から運行を取りやめ、20 日は終日欠航となった。また、大分港と大分空港を結ぶ大分ホバ-フェリーも 20 日は全面欠航した。国道九四フェリー(佐賀関-三崎)、関西汽船フェリー(別府-大阪)、ダイヤモンドフェリー(大分-神戸)も 20 日は欠航となった。

1092 平成 13 年(2001 年)10 月 16 日～17 日の大雨・強雨による山がけ崩れ害・浸水害 (停滞前線・台風第 21 号)

[気象概況]10 月 16 日午後九州付近に停滞前線が発生した。この前線に向かって、沖縄の南海上にある台風第 21 号から暖かく湿った空気が流れ込み、前線の活動が活発となった。このため、16 日から 17 日にかけて南部を中心に大雨となり、蒲江では 16 日に日降水量 253mm、日最大1時間降水量 77mm を観測した。



地上天気図 10月16日09時



[被害概況]16日には蒲江町を中心に床上浸水、床下浸水や土砂崩れなどの被害が続出し、住民27名が公民館などに自主避難した。山がけ崩れで道路が寸断され、波当津地区は72世帯が孤立状態となった。佐伯市や米水津村などでも土砂崩れや道路冠水が相次ぎ、国道や県道が通行止めとなった。また、蒲江町内の小・中学校(計15校)も午前中で授業を打ち切った。航空便、JRにも乱れが出た。大分空港の悪天候のため、東京、大阪発の2便が欠航した。JRも宮崎県内の大雨のため、日豊本線の特急列車上下8本と普通列車の上下4本が運休又は部分運休した。南宮崎ー京都間の寝台特急の上下線も運休した。

被害状況				
死者・行方不明者		人	道路損壊	113 か所
負傷者		人	橋の流失	か所
被災者		人	鉄軌道被害	か所
住家	全壊・全焼・流失	棟	山崖崩れ・地滑り	14 か所
	半壊・半焼・一部破損	1 棟	堤防決壊	か所
	床上浸水	41 棟	通信施設被害	回線
	床下浸水	173 棟	木材流失	m ³
耕地	流失・埋没	1.1 ha	山林焼失	ha
	冠水	10.1 ha	船舶被害	1 隻
農業被害			ha	か所
				19679 万円
水産業被害			隻	か所
				万円
林業被害			m ³	ha
			か所	万円
交通	陸上	運休		
	海上			
	航空	欠航		
電力・水道被害				
被害資料の入手先		大分県、大分県警察本部、大分合同新聞		
報告刊行物				

